

日本老年学的評価研究に参加された方へ

課題名：日本老年学的評価研究データを用いた高齢者の健康の多様な決定要因の二次分析

承認番号： D2021-016

・研究の背景および意義・必要性について

高齢化する社会において、高齢者の健康の決定要因を追求することは健康の維持に欠かせません。幅広い高齢者の健康の決定要因として、多様な社会的決定要因や、口腔の健康の全身の影響など、考慮しなくてはならない要因は多いです。そこで多分野共同で実施される、日本で社会疫学を研究するコホート研究としては最も歴史のある、日本老年学的評価研究（JAGES）のデータの活用が求められています。

・研究の目的について

多様な健康の決定要因を究明するため、日本老年学的評価研究の匿名化された調査データを二次分析し、健康の社会的決定要因や、健康格差、医療受診、口腔の健康と全身の健康の関連について分析を行います。

・研究の方法

日本老年学的評価研究にて収集し、匿名化されたデータの利用を日本老年学的評価研究機構に申請します。取得したデータを用いて横断研究および縦断研究から、健康の社会的決定要因や、口腔の健康と全身の健康の関連について分析を行います。

・予測される結果（利益・不利益）について

データの流出が予想される危険として存在します。

・情報の保護について

取得するデータは匿名化されており、個人情報をも特定できるような情報も含まれていません。データの授受はDVD-Rの郵送で提供を基本として、質問紙やデータ利用マニュアルなど機密性保持の必要性が低いデータの授受はウェブからのダウンロードを利用します。データは相田潤（健康推進歯学分野教授）を責任者として暗号のかけられるドライブに10年間保存し、その後はデータを再現できない形で消去いたします。解析はオフラインのパソコンで実施し、それ以外への二次利用はいたしません。

・研究期間

歯学部倫理審査委員会承認後から2026年3月31日まで

・研究成果の公表について

研究成果は国内外の学会や学術論文として発表する予定です。

・利益相反について

本研究は大学の運営費と外部の公的研究費（日本学術振興会の科学研究費補助金）で賄われます。研究を実施するにあたり特定企業との利害関係はありません。本研究の実施にあたっては、本学利益相反マネジメント委員会に対して研究者の利益相反状況に関する申告を行い、同委員会による確認を受けています。

・問い合わせ先

研究責任者：東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 健康推進歯学分野
相田 潤
〒113-8519 東京都文京区湯島 1-5-45
03-5803-5475 (対応可能時間帯 平日 9:00-17:00)

苦情窓口：東京医科歯科大学歯学部総務係

TEL 03-5803-5404 (対応可能時間帯 平日 9:00-17:00)